

令和7年度第1回「人権行政に関する懇話会」議事概要

【日 時】 令和7年6月5日（木）15：00～16：45

【場 所】 TKP エルガーラホール 会議室1

【出席者】 ○：懇話会委員

緒方委員、小出委員、松浦委員、松永委員、弓委員

●：事務局

人権部長、人権推進課長、地域施策課長、人権啓発センター所長 他

【傍聴人】 なし

【議 題】 令和7年度人権問題に関する市民意識調査について

※事務局より、資料に基づき内容を説明

【発言要旨】

議題 令和7年度人権問題に関する市民意識調査について

（調査票について）

○調査票に漢字が多く、ふりがなもないため、外国籍の方や障がいをお持ちの方にとって回答しづらい可能性がある。すべての方が回答しやすいように、配慮した体裁にする必要がある。

○すべての設問にふりがなを付けたり、すべての表現を平易にすることは難しいと思われるため、「やさしい日本語版」や「点字版」の調査票も用意している旨を案内し、問い合わせがあれば提供できるようにしてはどうか。

（調査項目について）

○回答者自身の差別経験の有無を尋ねる設問に加えて、「家族や親しい人、知り合いが差別を受けたと聞いたことがあるか」といった設問も設けてみてはどうか。

○差別とは何かを考えることが非常に重要。そこで、「そもそも差別とは何か」や「どのようなことを差別と感じるか」といった設問を設けてみてはどうか。

○人によって考え方が異なりそうな事例を示し、「これについてどう思うか」といった設問を設けてみてはどうか。年代や性別毎に集計することで、興味深い分析ができるのではないか。

○調査票問7の選択肢「C 地域」が何を指しているのか分かりにくい人もいるのではない
か。補足説明をカッコ書きで加えるなど、わかりやすくする工夫を検討してほしい。

(調査結果について)

○自由記述欄には率直な意見が書かれていると思うので、前回どのような意見があったか
が重要ではないか。

○前回の市民意識調査の結果は、これまでどのように施策に反映されてきたのか。

●前回の調査で若年層に啓発情報が十分に届いていないことが課題として挙げられたため、
SNS や動画を活用した啓発活動を積極的に実施している。また、人権啓発センターでは、
市民の関心が高かった「インターネット上の人権問題」や「職場での人権問題」を講演テ
ーマとして重点的に取り上げている。

(その他)

○市で実施している外国籍の方への別の調査があったと思うが、人権についての設問も入
れてもらってはどうか。